

幕張南小学校では、「全ての人を笑顔にする学校」を目指しています。

全ての人とは、ここにいる子供たち、お家の人、先生、地域の人たちです。

子供たちが楽しそうに学校に来て、地域の人に「おはようございます」と笑顔であいさつをすれば、地域の方は、笑顔になります。

子供たちが、仲良く、楽しく勉強をすれば、先生たちは、笑顔になります。

子供たちが、家に帰り「今日は、～な楽しいことがあったよ。」とお家の人に話せば、お家の方は、笑顔になります。

幕張南小学校の子供たちみんなが、笑顔で、楽しく毎日を過ごせば、周りにいる人が自然と、笑顔になっていきます。

ただ、嫌なことや、意地悪な言葉を聞くと笑顔ではられませんよね。

今日は腰塚 勇人さんという人の言葉を紹介します。

腰塚さんは、スキーの事故で首を骨折し、一生歩けないという宣告を受けました。

生きる意欲を失いかけていましたが、周りの人の支えによって、ありのままの自分を大切に、チャレンジし、立ち直りました。

どのような言葉か、一緒に考えてみてください。

まずは、「口」です。「口」は、何のために使うべきだと思いますか？

いろいろ考えられますね。腰塚さんは、

「口」は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう

「目」は、人のよい所を見るために使おう。

「耳」は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。

「手足」は、人を助けるために使おう。

「心」は、人の痛みがわかるために使おう。

ここにいる皆さんが、人を励まし、人の心の痛みがわかる人であれば、「全ての人を笑顔にする学校」になると思います。

今日から、10月6日の秋休みまで、学校に来る日は、6週間。28日です。

「楽しい前期だった。」と皆さんが笑顔で言えるように、ここにいる全員で協力しあいましょう。